令和6年度下半期 財政の状況

（令和6年10月1日～7年3月31日）

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、6年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計（水道事業・下水道事業）は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて7年3月31日現在のものです。6年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

6年度の予算現額は、550億6738万円です。執行状況は図1のとおりで、歳入では収入率が92・2%、歳出では執行率が84・4%となっています。

物価高騰への主な取り組み

負担を軽減するため、水道料金・下水道使用料の減免を再度実施しました。

総合基本計画における施策の大綱ごとの主な取り組み

◎安全で安心して住み続けられるまち

災害時に迅速に手当てを受けられる環境を整備するため、医療救護テントや器材・医薬品などを購入しました。

◎互いに支え合い、尊重し合うまち

市民総合交流拠点施設を7年度中に開館するため、整備工事を実施しました。

◎未来を担う子どもたちが育つまち

子育て世帯を支援するため、学校給食費を無償化したほか、高校生年代までの医療費の負担金を撤廃しました。

◎文化芸術、スポーツの振興を図るまち

みほり体育館に空調設備を設置しました。

◎環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち

市役所本庁舎南側にある外構水景施設（せせらぎ）の水循環装置を改修しました。

◎快適で利便性に富んだまち

公園・児童遊園のトイレのバリアフリー化を進めるため、改築工事に着手しました。

◎生活を支え、活力を生み出すまち

市制施行70周年を記念し、昭島市民くじら祭や産業まつり、郷土芸能まつりを拡充しました。

◎市制施行70周年記念事業

記念式典を開催したほか、オリジナル水筒の作成などを行いました。

図1　6年度一般会計　予算の執行状況

歳入　予算現額 550億6738万円　収入済額 507億6472万円（収入率 92.2%）

	上段：予算現額 下段：収入済額（収入率）
市税（市民税・固定資産税など）	204億9890万円 204億8256万円（99.9%）
地方消費税交付金（地方消費税収入の配分金）	27億円 28億9135万円（107.1%）
地方交付税（普通交付税・特別交付税）	500万円 765万円（153.0%）
使用料及び手数料（施設使用料など）	9億1920万円 8億3879万円（91.3%）
国庫支出金（国からの補助金など）	123億407万円 106億3000万円（86.4%）
都支出金（都からの補助金など）	84億952万円 80億4454万円（95.7%）
市債（国・都などからの借金）	13億170万円 8億3640万円（64.3%）
その他（繰越金、繰入金など）	89億2899万円 70億3343万円（78.8%）

※前年度からの繰越財源（6億6888万円）を含みます。

歳出　予算現額 550億6738万円　支出済額 464億5365万円（執行率 84.4%）

	上段：予算現額 下段：支出済額（執行率）
総務費（徴税、住民登録など）	79億585万円 61億7576万円（78.1%）
民生費（福祉の充実など）	277億5862万円 254億1678万円（91.6%）
衛生費（健康、ごみ処理など）	48億1853万円 34億3834万円（71.4%）
土木費（道路、公園の整備など）	34億5628万円 21億3834万円（61.9%）
消防費（災害対策など）	14億8690万円 13億9127万円（93.6%）
教育費（学校、スポーツ、文化など）	70億549万円 54億7052万円（78.1%）
公債費（借金の返済）	17億7440万円 17億6703万円（99.6%）
その他（議会、農業、商工など）	8億6131万円 6億5561万円（76.1%）

※前年度からの繰越事業費（6億6888万円）を含みます。

積立基金（貯金）

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源が不足する場合や、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。

現在高は表1のとおりです。

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図2のとおりです。

表1　積立基金（貯金）

		現在高
一般会計	財政調整基金	92億190万円
	特定目的基金	101億8204万円
特別会計		11億8583万円
合計		205億6977万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金（家計でいう貯金など）
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金（家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など）

図2　市有財産

土地
59万632㎡
（学校・公園など）

建物
22万2305㎡
（学校・市庁舎など）

出資による権利
1億2094万円
（昭島市育英会など）

市債（借金）

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要です。

その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借り入れを行っています。

現在高は表2のとおりです。

表2　市債（借金）

		現在高（元金の残高）
一般会計	建設事業債	78億4093万円
	災害復旧債	3422万円
	特例地方債	73億9775万円
合計		152億7290万円

※建設事業債＝学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債＝自然災害により被災した公共施設の復旧のための借入金
※特例地方債＝財源の不足を補うための借入金

市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額と、それに対して市が行う市民サービス費用、また、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図3のとおりです。

なお、市民サービス費用は一般会計の支出額のことで、市税負担額との差額は、国・都からの支出金などで賄われています。

図3　市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

7年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。

【市民1人当たり】		【1世帯当たり】
17万6989円	市税負担額	35万1354円
40万1404円	市民サービス費用	79万6858円
17万7742円	貯金	35万2850円
13万1972円	借金	26万1989円

※7年3月31日現在の人口は11万5728人、世帯数は5万8296世帯です。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。

各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

表3　6年度特別会計　歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額（収入率）	支出済額（執行率）
国民健康保険	123億5543万円	108億3764万円（87.7%）	107億1101万円（86.7%）
介護保険	103億297万円	102億4918万円（99.5%）	92億7499万円（90.0%）
後期高齢者医療	32億327万円	31億1470万円（97.2%）	31億2693万円（97.6%）
中神土地区画整理事業	3億9517万円	3億724万円（77.7%）	1億8809万円（47.6%）
中神駅北側地域整備事業	12億2738万円	8億3476万円（68.0%）	9億192万円（73.5%）
合計	274億8422万円	253億4352万円（92.2%）	242億294万円（88.1%）

行財政の健全化に向けて

6年度は、市制施行70周年記念事業に加え、学校給食費の無償化や、5年度に引き続き市民総合交流拠点施設の整備工事を実施しました。

7年度は、12月の開館に向けて、引き続き市民総合交流拠点施設の整備工事を実施するほか、つつじが丘公園にある新幹線車両の改修工事を予定しています。

限られた財源でさまざまな財政需要に対応するため、基金の取り崩しにより、27億8000万円の財源不足を補わなければなりません。

このような中でも、市民サービスの維持・向上のため、そして、地域特性を活かした事業を積極的に展開し、魅力にあふれたまちづくりを実現するため、将来を見据えた計画的な財政運営に努めます。

☆詳しくは、財政係へ。